

公私立大学実験動物施設協議会平成28年度総会議事録

【総会】13:00～14:20

日時：平成28年6月30日（木）

場所：東京ガーデンパレス「天空の間」

会員（施設）数：172

出席会員（施設）数：136

委任状提出会員（施設）数：25

欠席会員（施設）数（委任状未提出会員数）：11

代議員（代理出席を含む）：211名

来賓：6名

オブザーバー：0名

出席者合計数：217名

1. 開会の辞：

下田耕治副会長（慶應大）から出席会員（施設）数と委任状数の総計が過半数を上回るため本総会が成立することが報告され、公私立大学実験動物施設協議会（以下、「公私動協」という）の平成28年度総会の開会が宣言された。

2. 会長挨拶：

喜多正和会長（京都府立医大）から、まず来賓が紹介された。続いて、4月に発生した熊本地震被災者に対するお見舞いとその救済にあたった方々に対する感謝の言葉が述べられた。その後、参加者に対して、平成29年度に動物の愛護及び管理に関する法律の改正を控えているため、特に法令遵守を推進する旨、挨拶があった。

3. 来賓紹介：

喜多正和会長（京都府立医大）から、以下の6名のご来賓が紹介された。

文部科学省研究振興局学術機関課研究設備係長(併)研究支援係長 中嶋 大輔 様

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課ゲノム研究企画調整官 野田 浩絵 様

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命科学研究係長 勝股 靖貴 様

厚生労働省大臣官房厚生科学課主査 角野 敬行 様

国立大学法人動物実験施設協議会会長 甲斐知恵子様

厚生労働省関係研究機関動物実験施設協議会会長 津村 秀樹 様

なお、ご出席予定であった文部科学省研究振興局ライフサイエンス課科学技術・行

政調査員の鹿川哲史様はご都合により欠席された。

さらに、以下の方々からご挨拶をいただいた。

中嶋 大輔 様 当日配付資料「学術研究を取り巻く動向」の概略を説明された。学術機関課では、大学の枠を超えた多岐の分野にわたる共同利用、共同研究を推進している現状にあり、平成 29 年度に向け引続きネットワーク型拠点を拡大する方針であることが報告された。

野田 浩絵 様 当日配付資料「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下、「基本指針」という）について」を基に、基本指針の概要を説明され、平成 27 年度に実施した基本指針遵守状況に関する調査の結果が良好であったことが報告された。さらに、質の向上の為に情報公開ならびに外部検証が重要であることを強調された。

角野 敬行 様 厚生労働省の管轄する動物実験実施機関の範疇は広いが、今後も遵守状況を公開する予定であると述べられた。また、動物実験を行うことの必要性を動物愛護の観点から国民に正しく伝えることも、実験動物施設を管理する立場の方々のミッションのひとつであると、提言された。

甲斐知恵子様 現在、動物実験反対運動家からの情報公開要求に対し、専門家として深く関わっているが、平成 29 年に改正予定の動物の愛護及び管理に関する法律が今後の動物実験の実施の妨げとならないようにするため、文部科学省等の協力を得つつ、国立大学法人動物実験施設協議会（以下、「国動協」という）、公私動協ならびに厚生労働省関係研究機関動物実験施設協議会（以下、「厚労働協」という）の協力体制の強化を求められた。

津村 秀樹 様 厚労働協には 20 機関が所属し、内 9 機関が HS 財団の認証を受けたこと、また、愛護団体の圧力で日航機がイヌおよびサル等の輸送を中止したことを受け、厚生労働省に文書を提出して実験動物関係団体および行政機関と日航が協議したことを報告された。

4. 議長選出：

下田耕治副会長（慶応大）のもとで議長選出の手續きが行われ、袴田陽二代議員（日獣生命科学大）が議長に選出された。

5. 議 事：

(1) 報告及び承認

① 平成 27 年度会務報告及び活動報告

喜多正和会長（京都府立医大）から、平成 27 年度定期総会、第 21 回シンポジウムおよびサテライトミーティングの開催、会誌（公私動協年報 No.23）の発行、平成 27 年度役員会の開催、ICLAS モニタリングセンター運営検討委員会への出

席、平成 27 年度国動協総会への出席、動物実験関連団体円卓会議への出席ならびに全国医学部長病院長会議への出席について、総会資料に基づいて報告された。また、全ての委員会における平成 27 年度活動報告についても総会資料に基づいて報告された。これらについて議長が採決を諮り、賛成多数で承認された。

② 平成 27 年度会計報告

下田耕治副会長・事務局長（慶応大）が、総会資料に基づいて平成 27 年度会計収支計算書および財産目録について説明し、報告した。

③ 平成 27 年度監査報告

鈴木さつき監事（日本歯科大）から、予算の執行が適正かつ妥当であった旨の会計監査報告がなされた。

議長が採決を諮り、平成 27 年度会計報告ならびに平成 27 年度監査報告は賛成多数で承認された。

④ 役員選挙結果報告

選挙管理委員会の秋元敏雄委員長（日本医大）が、総会資料「別添資料 3」に基づいて、平成 27 年 12 月に行われた公私動協選挙結果を報告した。新会長として、喜多正和現会長（京都府立医大）が信任され、常任幹事には佐加良英治現常任幹事（兵庫医大）、下田耕治現常任幹事（慶応大）ならびに國田 智現会長指名幹事（自治医大）が当選した。また、監事には、久保 薫現監事（奈良県立医大）ならびに鈴木さつき現監事（日本歯科大）が当選した。議長が選挙結果について採決を諮り、賛成多数で承認された。

⑤ その他

無し

(2) 審議事項

① 新会長、副会長、常任幹事、会長指名監事および監事の紹介と承認

喜多正和現会長（京都府立医大）から、自らが信任され、新会長に就任することが報告された。また、喜多正和会長（京都府立医大）は、選挙結果に基づいて下田耕治現常任幹事（慶応大）、佐加良英治現常任幹事（兵庫医大）ならびに國田智現会長指名幹事（自治医大）が常任幹事として就任すること、この 3 名の内、下田耕治現常任幹事（慶応大）ならびに國田 智現会長指名幹事（自治医大）が副会長に就任すること、安藤隆一郎現組織・制度検討委員会委員長（東北医薬大）ならびに荒田 悟現会長指名幹事(昭和大)を会長指名幹事として指名すること、また、選挙結果に基づいて久保 薫現監事（奈良県立医大）ならびに鈴木さつき現監事（日本歯科大）が監事として就任することが報告された。なお、磯貝 浩現副会長（札幌医大）は任期途中での退職となるため、昨年 12 月の選挙時にお

いて被選挙人となることを辞退した旨がつけ加えられた。議長が採決を諮り、賛成多数で承認された。

② 新委員長の紹介と承認

喜多正和会長（京都府立医大）から、以下の通り、新委員長を委嘱する旨が報告され、それぞれの委員会の委員長は会長に紹介された。田中聖一学術情報・広報委員会委員長（福岡大）、佐加良英治教育・研修委員会委員長（兵庫医大）、國田 智バイオセーフティ委員会委員長（自治医大）、鈴木 真遺伝子組換え動物委員会委員長（沖縄科学技術大学院大）、安藤隆一郎組織・制度検討委員会委員長（東北医薬大）、下田耕治評価・検証制度検討委員会委員長、鈴木さつき記録・編集委員会委員長（日本歯科大）、長尾静子アドバイザー委員会委員長（藤田保健衛生大）、久保 薫調査委員会委員長（奈良県立医大）ならびに秋元敏雄選挙管理委員会委員長（日本医大）。議長が採決を諮り、賛成多数で承認された。

③ 規程等の改正

安藤隆一郎組織・制度検討委員会委員長（東北医薬大）から、総会資料「別添資料1」に基づいて、公私立大学実験動物施設協議会委員会規程（改正案）が提示された。改正部分は第3条で、これまで委員会の委員は代議員の中から委嘱されていたが、これに会員所属機関の代議員経験者を委員候補者として追加する点であり、その趣旨は、事情があつて代議員から外れた方にも公私立大学実験動物施設協議会の運営にご協力いただき、人材を有効に活用したいことであるとの説明がなされた。ただし、委員長に限っては、これまで通り代議員から委嘱するものとするのが追加された。これについて質疑はなく、議長が採決を諮り、賛成多数で承認された。

④ 平成27年度活動計画（案）

喜多正和会長（京都府立医大）から、総会資料に基づいて、本総会を開催していること、会誌「公私動協年報 No.24」を発行予定であることおよび役員会の開催を予定していることが報告され、会員施設の外部検証の実施を推進すること、法令遵守の周知を図ることおよび国動協ならびに厚労働協等との連携を強化することを運営方針とすることが述べられた。

引き続き、総会資料に基づいて、全ての委員会の委員長から各委員会の委員の紹介および活動計画（案）が提示された。

特に、佐加良英治教育・研修委員会委員長からは、8月25～26日に日本獣医生命科学大学を会場として実験動物技術者2級レベルの実技講習会を企画していること、および10月18日に京都府立医科大学において外部検証受検のためのフォローアップ研修会の開催を企画していることが案内された。また、安藤隆一郎組

織・制度検討委員会委員長（東北医薬大）ならびに鈴木 真遺伝子組換え動物委員会委員長（沖縄科学技術大学院大）からは、それぞれの委員会の委員として久原孝俊先生（順天堂大）を追加することが報告された。さらに、下田耕治評価・検証制度検討委員会委員長からは、外部検証受付の公式な締め切り日は7月末ではあるが、会員（施設）からの相談に応じ、より多数の受検を募りたいとの案内があった。久保 薫調査委員会委員長（奈良県立医大）からは、前年度よりも2名の委員を増員したことが説明された。

これらについて議長が採決を諮り、賛成多数で承認され、(案)は活動計画として成立した。

⑤ 平成 28 年度予算（案）

下田耕治副会長・事務局長（慶応大）から、総会資料に基いて、平成 28 年度収支予算案が提示され、会員（施設）数の増加に伴い、会費収入が増加したことおよびそれに対応する目的で印刷、調査活動費、総会経費等を増額したことが説明された。質疑は無く、議長が採決を諮り、賛成多数で承認され、(案)は収支予算として成立した。

⑥ その他

特に無し

6. 表彰：

教育・研修委員会が主催した平成 27 年度公私動協技術研修会において会場提供およびスタッフの協力等に多大に貢献した獨協医科大学実験動物センターに、感謝状が贈呈された。

7. その他

平成 29 年度定期総会の開催について

平成 29 年度定期総会は以下の通り開催予定である旨が、担当する國田 智代議員（自治医大）から報告された。詳細はホームページに掲載される。

日 時：平成 29 年 6 月 2 日（金曜日） 13：00～

会 場：自治医科大学講堂

8. 閉会の辞

國田 智副会長（自治医大）から閉会が宣言され、公私動協平成 28 年度定期総会が閉会した。

資 料：

1. 公私立大学実験動物施設協議会 平成 28 年度定期総会資料
2. 学術研究を取り巻く動向 ー平成 28 年度公私立大学実験動物施設協議会総会ー
平成 28 年 6 月 30 日文部科学省研究振興局学術機関課
3. 平成 28 年 6 月 30 日（木）平成 28 年度公私立大学実験動物施設協議会総会
研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針について 文部科学省研
究振興局ライフサイエンス課

【第 22 回シンポジウム】 14：30～17：00

座長（國田 智(自治医大)・久保 薫(奈良県立医大)) の進行のもと、下記の 3 題
についての講演と質疑が行われた。要旨は総会資料に掲載してある。

1. 動物実験に関する最新の動向 喜多正和（京都府立医大）
2. 動物実験のコンプライアンス（適正な管理） 佐加良英治（兵庫医大）
3. 動物福祉に配慮したげっ歯類の麻酔法・安楽死法
鈴木 真（沖縄科学技術大学院大）

【平成 27 年度サテライトミーティング】

総会及びシンポジウムの終了後、平成 28 年 6 月 30 日（木）17：00～19：00 に、東
京ガーデンパレス 3 階平安の間において平成 28 年度サテライトミーティングが開催さ
れた。本総会の担当者である秋元敏雄代議員（日本医大）の司会のもと、折茂英夫代議
員（日本医大）にご挨拶いただき、続いて田中 聡代議員（熊本保健科学大）から 4
月に発生した熊本地震の被災状況が報告された。

出席会員（施設）数は 63、出席者総数 103 名（内、代議員+その他：102 名及び来賓
1 名：厚労働協会長の津村秀樹様）であった。

以 上